



●身近な話題をお知らせください！ 市長室 ☎53・1111 内線 325

5/13 口名田小5年生が田植え

口名田小の5年生20人が、口名田高齢者クラブのメンバー8人と田植えを体験しました。植え方の説明を聞いたあと、児童らははだしで田んぼの中へ。田植棒で植える位置の目印をつけたあと、もちゴメのカグラモチを3本ずつついでいねいに植えていきました。収穫は9月下旬ごろで、いっしょに稲刈りをし、給食やもちつきなどをして味わうことにしています。



5/4 絵本を食べよう

食文化館のゴールデンウィーク企画「絵本を食べよう」に参加した子どもたち。エプロン、三角巾姿で絵本「おやつがほーい どっさりほい」を聞いたあと、絵本に出てきたドーナツ作りに挑戦しました。粉から生地、型抜きと、真剣な表情で思い思いの形のドーナツを完成させました。

4/20 若狭マラソン大会

今年は県内外から2,358人が参加し、3キロ、5キロ、10キロ、ハーフの4種目19部門で健脚を競いました。曇り空に適度な気温という絶好のコンディションの中、ランナーたちは沿道の声援を受けながら思い思いのペースで若狭路を走り抜けました。今回、初めて給水所が設けられ、10キロとハーフのランナーが次々と水分補給をしていました。



5/1 阿奈志神社例祭

奈胡区の阿奈志神社例祭で、33年ぶりに舞が復活しました。演じ手の子どもが減ったため休止していましたが、今年は同区内の児童二人によって「豊栄の舞」が奉納されました。舞を奉納した二人は「大勢の人が見ていたのでビックリしたけど、二人の息がピッタリでうまくいきました。これかも続けてほしいです」と振り返りました。



5/2・3 お城祭り

小浜神社の例大祭「お城祭り」。2日間にわたって、県無形民俗文化財の雲浜獅子や棒振り太鼓が雲浜地区内を巡行しました。このうち雲浜獅子は1634年、酒井忠勝公が川越藩から国替えになった際、川越で行われていた獅子舞の舞い手を連れてきたのが始まりとされ、老若2頭の雄獅子が、1頭の雌獅子をめぐる争う恋の物語を表現しています。



市指定文化財 新たに二件追加

市では、四月十日付けで新たに二件を、市指定無形民俗文化財として指定しました。地域に根ざした無形文化遺産を積極的に保護継承していくことを目的としています。今回の指定により、市指定等文化財の総数は二百二十六件となりました。

■問い合わせ 世界遺産推進室 ☎内線 443

『西津七年祭』



五月四日、五日に行われる宗像神社の例祭行事です。七年ごと（巳年・亥年）の大祭と十三年ごと（丑年）に行われる遷宮祭があります。余興と呼ばれる出し物には大太鼓、神楽、琵琶、太刀、神輿があり、神社や御旅所への出入り時の囃子競演は圧巻です。丹後地方や高浜でみられる太刀の演舞、船霊や船屋台の巡行など海に根ざした出し物もあり、福井県を代表する祭礼として位置づけられます。

『山八講行事』



毎年三月二日に下根来八幡神社長床で実施されます。現在、一般的に山八神事と呼ばれますが、本来は下根来区の中講の一行事として位置づけられます。古式ゆかしい進行のあと、特殊な行いとして赤土をなめ、バイにより「山」と「八」の字を講坊の柱に書き付けます。赤土まんじゅうが主体の特殊な行事であるとともに、市を代表する神仏習合行事であることから、指定・保護するものです。